

長崎国際大学 同窓会誌

2013.12
VOL.6

Nagasaki International University



【発行元】長崎国際大学同窓会
〒859-3298
長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7
長崎国際大学事務局
TEL.0956(39)2020 FAX.0956(39)3111
E-mail:dousou@niu.ac.jp



平成24年度 卒業式

木枯らしの冷たさが身にしみる季節になりましたが、皆様、お変わりございませんか。

さて、ここのことろ多忙で、昔ほど大学へ足を運ぶ機会が少なくなってしまいましたが、先月、学園祭に行って参りました。

今年の学園祭は、11月2、3日に開催されました。2日目は生憎の雨で可哀そうになりましたが、学生はそれにもめげず、学食で雨宿りしているお客さんに積極的に売り込みをかけていました(笑)今年の模擬店は、今流行りのパンケーキや、もはや国際大学の伝統となりつつある、留学生が作る本場の水餃子が人気のようでした。山崎まさよしのライブが終わると、会場からぞろぞろと出てきた多くのお客さんで、さらに売り込み魂に火が付いているようでした。また、尾場ゼミは、学外で行われた『させぼたこ焼きグランプリ』に参戦し、見事優勝を勝ち取るなど、学内外で盛り上がりをみせていました。多忙かと思いますが、同窓生の皆さんも息抜きがてら学園祭の雰囲気を味わいに来られてはいかがでしょうか。

さて、昨年度の同窓会活動としましては、広報誌発行、部活表彰、学園祭への支援等に加え、女子便所擬音装置を寄付致しました。また、今年同窓会役員の交代を行い、新体制で臨んでおります。また一方で、同窓会沖縄支部の立ち上げも進行しております。

今後の活動としましては、更なる在学生への支援、また、同窓生への支援も考えていくたいと思っています。また、Facebookの活用

や、同窓会へのご登録もよろしくお願ひ致します。尚、同窓会へのご意見、ご感想も隨時承っておりますので、お気軽にお申し付けください。今後とも長崎国際大学同窓会悠和会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひ致します。

年末に向けて何かと気ぜわしい毎日ですが、体調をくずされませんよう、お祈り申し上げます。

P.S 学園祭の日、偶然出会った卒業生と晩御飯を食べることになり、みんなでささやかな手巻き寿しパーティをして楽しみました。結婚した友達も子を連れてきていたり、その子と遊んだり、その世代で感じることや昔の話をしました。大げさかもしれません、この大学で皆と出会えて本当に良かったなあと実感しかけがえのない仲間だなあと改めて思いました。

もしかしたら、こんな光景が色々な場所で起こっているのかもしれません。それが同窓会であっても、そうではなくても、同窓生という繋がりを、これからも大事にしていきたいと思いました。みんなが笑える日々でありますように。またみんなで集まれますように。ありがとうございます。



長崎国際大学同窓会 会長
折原 賢児

学長・理事長あいさつ

あの夏の猛暑が懐かしく思える程の冬の寒さ、例年ない猛暑、例年ない厳冬、卒業生の皆さん、寒暖の差の厳しい季節の移ろいの中、お元気でお過ごしてどうか。年に一回、同窓会報で大学は皆さんと絆を結んでいます。昨年は沖縄で保護者会と同窓生の集いを行いました。多くの同窓生が集まり、沖縄に同窓会支部を作ろうと盛り上りました。同窓会の役員会にお願いをしているところであります。

大学は今かつてない改革の時代を迎えています。私立大学の4割は定員に満ちていない未充足の状態です。これからも特に地方にあっては若い人の人口の減少が続いていきます。21世紀は少子高齢化社会。グローバル化は進み、都市と地方の格差は広がるばかりです。

そんな中、本大学は地域の中で輝く大学でありたいと希求し



学校法人 九州文化学園 理事長
長崎国際大学 学長
安部 直樹

ています。来年から薬学部に大学院設置が認可され開設します。4年課程で修了すれば博士号が取得できます。また、国際観光学科にグローバルツーリズムコースを設置します。徹底して英語の話す、聞く、書けて読める、文字通りビジネス英語を駆逐する国際人を育てます。最初の1年間で1,000時間におよぶ英語学修の時間と短期留学、2年次は半年から1年をかけての英語圏への留学等、しっかりした英語力をつけて観光の専門分野を学ぶコースで、これからグローバル社会に対応していく学生を育てます。大学4年間(薬学は6年間)での学びが必ず学修成果として表れる。それは、就職、国家資格取得、そして、何より社会人基礎力が身についた汎用性のある学生を育てていくことに教職員一体となって頑張っています。

大学のモットーは“いつも、人から。そして、心から。”の理念、その具現化に“茶道文化”があります。どうぞゆっくり一椀の茶を味わうべく、大学をお訪ねください。大学はいつも皆さんの来校を待っています。平成26(2014)年度には学校法人が創立70年を迎えます。創立70年の節目の折、また、温故知新の理念を再確認し、21世紀へ向かい力強い一步を踏み出しています。同窓生諸君の御健勝と御多幸を切に祈るものであります。

平成25年11月3日(日) 第4回 同窓会総会・役員会が開催されました。

折原同窓会会長、木村副学長出席のもと、第4回同窓会総会が開催されました。

平成23年度、24年度の事業報告、決算報告、平成25年度、26年度の事業計画、予算審議、役員選出が行われ、総会議案は、満場一致で可決承認されました。事業報告では現在までの部活動やサークル活動の支援に加え、女子学生から要望の強かった、トイレの擬音装置が、学内すべての女子トイレに設置されたことなどが報告されました。今年度の事業は、前年同様で、予算規模もほぼ同額ですが、木村理事より、部活動支援と同様に、一般学生の支援にも更に支

援してはとの意見があり、その方向で執行していくことが確認された。また、同窓会会報誌も年2回の発行を予定しているが、昨年度は1回しか発行できなかつたことが反省点として挙げられ、今後改善していくことが確認された。また、平成25年度中には、沖縄支部が結成される予定で、同窓会活動も少しずつ認知されているようです。役員に関しては、職場の移動等の理由で2人の理事が交代されました。後任には、第3期生の勝本 健太(国際観光)さん、第5期生の荒巻 桂二郎(国際観光)に就任いただきました。

卒業生の今。

国際観光学科 5期生 別府 真希

私は、霧島連山の麓の山々に囲まれたまち(宮崎県都城市)で生まれ、毎日、霧島山を見て育ちました。大学入学当初はいつも「地元に帰りたい！」と思っていましたが、佐世保での思い出が増えてくると「卒業しても佐世保に残りたい！！！」という思いが、だんだんと強くなってきました。

大学4年間は、1年生の頃から、サークル担当の片岡先生をはじめ、多くの先生方にお世話になり、様々な経験をさせていただきました。

「佐世保に残りたい！」と思うようになったきっかけは、2年生(2006年)の冬。四ヶ町アーケードの一角に発足したサテライト研究室『させぼ港まちづくりスタジオ』でした。初期～第3期メンバーとして、3年間まちなかで活動し、佐世保のまちの歴史や文化などについて、多くのことを学ばせていただいたことは、とても良い経験になりました。



これらの実体験は、『こころ落ち着く山里、憧れの海。ちょっと都会的な街、人情的な市場街。カッコイイ海軍さんの歴史。「元気ね？」と声をかけてくれる人、「ただいま」と言える場所がある』ことを感じさせ、どんどん居心地が良くなりました。

そして、いつの間にか自然に、「佐世保の観光に携わりたい」という想いが芽生えていました。

卒業後は観光協会へ就職。現在はシルバータクシー(株)の本部で企画・営業を担当しています。

タクシーを利用される方のご要望は様々。観光タクシーのご利用も多く、とてもやりがいを感じます。昨年度、「させぼ観光マイスターゴールド」の市長認定をいただいてからは、さらに気を引き締め、週末は実際に現場へ行き情報収集をするように心がけています。

これからも、大学内外での様々な実体験で得た知識+茶道で身につけたおもてなしの心でお客様をお迎えし、「また絶対に佐世保へ来ていただこう！」という想いで毎日を過ごしていきたいと思っています。

卒業生の皆さんも、久しぶりにまた佐世保を訪れてみませんか？

平成25年3月9日(土) 長崎国際大学同窓会クラブ・サークル表彰式を開催

長崎国際大学同窓会悠和会は、学生支援の一環として、クラブ・サークル表彰を行いました。

この表彰は、同窓会より日頃活躍している在学生の部活動の奨励とさらなる活躍を期待して行われるもので、毎年卒業式の日に合わせて行い、折原同窓会長より激励とともに奨励金を授与しています。

本年度は、6団体に対して表彰、奨励金を贈呈しました。また、実績はないが今後活躍を期待する部活・サークル15団体に対しては「バックアップ支援」として奨励金を贈呈しました。



【同窓会表彰団体】

- 女子テニス部
- 男子テニス部
- 男子ソフトテニス部
- ゴルフ部
- 空手道部
- アーチェリー部



【同窓会バックアップ支援団体】

- 陸上競技部
- エイサーサークル
- 女子バスケットボール部
- 男子ソフトボール部
- 軽音楽サークル
- ダンスサークル
- 女子バレー部
- ローターアクトクラブ
- 女子ソフトテニス部
- 男子バドミントン部
- 茶道部
- フットサルサークル
- 男子バレー部
- 吹奏楽部
- よさこいサークル

沖縄支部発足に向けて！



平成25年6月29日土曜日に沖縄県那覇市のホテルサンパレス球陽館において、長崎国際大学同窓会沖縄支部発足会が開催されました。

以前より同窓会の支部発足は、同窓会としても期待しているところでありましたが、初の支部発足に向けて沖縄の同窓生が活動を始めました。

本年は大学側が初めて沖縄県で在学生の保護者懇談会を開催することとなり、それに合わせて支部結成に向けての準備が進められてまいりました。

6月28日金曜日、沖縄出身の同窓生有志10人と同窓会理事でもある木村勝彦副学長らが沖縄支部の発足に向けて話し合いを行いました。

翌29日は、大学の保護者懇談会に先立ち、沖縄支部発足会(沖縄支部総会)が開催され、安部直樹理事長・学長、木村副学長並びに各学科の先生方、同窓生が出席されました。

第2期生の小底大吾(国際観光)さん、第3期生の野波 丈倫

(健康栄養)が支部発足に関する提案を行い、続いて支部長、役員、支部事務所、今後の活動等について審議されました。

今後は、那覇在住の第3期生の亀谷 匡(健康栄養)さんを中心に準備を進めること、また、本学大学院人間社会学研究科出身で、現在琉球大学理事・副学長である富永大介(地域マネジメント専攻)さんがが、相談役として参加していくことなどが話し合われました。

終了後大学の保護者会に同窓生も出席し、懇親会では、同窓生、在学生の保護者、大学教職員が交流することとなり、在学生の保護者とも活発に交流ができました。

保護者からは、卒業生が地元沖縄で立派に就職し活躍していることを評価いただき今後も交流を続けていきたいとの声がありました。今後の支部の活動が活発に行われる事を期待します。



歴史の重なりを感じながら

同窓生の皆さん、いかがお過ごですか？この度、長崎国際大学同窓会悠和会の理事に就任いたしました、国際観光学科3期生の勝本健太です。大学院を修了し、はや5年という年月が流れ、私は現在、長崎国際大学の事務局に勤務し、入試・募集センターという部署に所属しています。主に、学生募集活動及び入試業務を行っています。学生時代から合わせると約12年大学におり、大学の歴史が一つまた一つと深くなっているのを感じる事ができ大変光栄に思っています。

また、年々若年層の人口が全国的に減少している中で、長崎国際大学では各学科の様々な取り組みのもと学生も順調に集まって来ておる次第でございます。

学生募集の一環で高校訪問を行うのですが、訪問した高校の先生から卒業生の事もよく聞かれます。その度に私が学生時代のことを思い出し懐かしく感じております。

現在大学では、大学祭もあいにくの天気でしたが、同窓生の方々もたくさん来場していただき、盛大に盛り上がり皆満足していただけた様子でした。ありがとうございます。

いました。一方、部活動では運動部のめまぐるしい活躍や文化部による地域貢献と、沢山の在学生が活躍しており、大学全体が盛り上がっているように感じます。

同窓生の皆さんもぜひ大学へ足を運んでいただき、後輩たちの元気な姿を見にきてはいかがでしょうか。在学生・教職員一同、同窓生に会えることを楽しみにしております。

最後になりましたが、長崎国際大学の同窓生として、長崎国際大学職員として長崎国際大学同窓会と大学との架け橋になれるようより一層努力してまいります。今後同窓会が大学を支えるような大きな組織になり、大学とともに成長していきたいと強く願っております。

そのためには、同窓生皆様のご理解とご協力が必要になります。今後とも長崎国際大学同窓会へのご協力、お力添えをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



国際観光学科 3期生
勝本 健太

長崎国際大学の発展を願って

長崎国際大学を卒業された皆さん、こんにちは。悠和会理事をさせていただくことになりました国際観光学科4期の荒巻です。

卒業後は、長崎国際大学に就職し事務職員として働き6年が経ちますが、大学は在学していたあの頃と変わらない学生の元気な声が聞こえてくるキャンパスがここにあります。

11月2日・3日に行われた第14回開国祭では、「innovation -挑戦-」をテーマに開国祭実行委員を中心として在学生・教職員が一体となり開催され大変盛り上りました。卒業生の皆さんのが、アイデアを出し合って創ってきたイベントも、伝統として後輩に受け継がれています。開国祭には、毎年多くの卒業生が大学に遊びに来ています。懐かしい友人・先輩・後輩に会うこと

ができ嬉しくもあり、それぞれ卒業生が活躍されていることを聞いていい刺激を受けています。もう一度大学時代の原点に戻り卒業生同士、切磋琢磨しあっていきたいと改めて思いました。

そして私たち同窓会役員はこれからも長崎国際大学発展のために活動していくよう努力してまいります。さらに皆さんのがいつでも大学に帰って来れるような環境作りを行っていきたいと思っています。是非長崎・佐世保にいらっしゃった時は、大学に遊びに来てください。皆さんの母校に帰ってきた時の笑顔に会えることを楽しみにしています。



国際観光学科 4期生
荒巻 桂二郎

卒業生に本学図書館資料の貸出を検討中

大学では、2013年11月現在約6万7千冊の図書と700種以上の雑誌を所有しています。

観光、社会福祉、栄養、薬に関する専門書があります。大学図書館は、一般にも開放し閲覧を許可しているものの、資料の貸出に関しては、現在在学生と教職員に限られています。

しかし、リカレント教育の一環や地域貢献の観点か

ら、現在次年度に向け貸出範囲を拡大することが検討されています。

まずは、卒業生に関して貸し出しを行えるように検討が開始されました。卒業生の皆さんのが業界誌や専門分野の図書を調査する必要があるときに活用できるように準備が進んでいます。ご期待ください。

のことに関するお問い合わせは大学図書館まで。

第14回 開国祭

大学祭
テーマ「innovation」
～挑戦～



大学祭 開国祭報告

大学祭実行委員長
健康栄養学科3年
堀田 楽人

第14回開国祭は11月2日と3日に開催しました。今回のテーマは「innovation」-挑戦-です。模擬店の出店数も23店舗と賑わい、今回の新しいイベントとして「大声コンテスト」「音楽と花火のSHOW」なども行いました。特に花火はラストを飾り、例年以上のすばらしい花火になったと思います。

また、2日の「エイサー」も地域住民により楽しんでもらうために、昼と夜の2回ステージに出て演武してもらいました。メインである「須藤元気氏」の講演会も入場整理券を配布しましたが、すぐに無くなってしまいキャンセル待ちがあるほど人気でした。3日の山崎まさよしさんのLIVEはアンコール含め17曲、2時間近くのLIVEとなり、会場に足を運んでいただいたお客様は大変満足したLIVEになったと

思います。

これらのことから動員観客数も前年度を超えた約7000人となりました。

今年のテーマである「innovation」-挑戦-の通り、新しいことに挑戦し学祭を変えてやるという強い思いで実行委員は活動してきましたが、新しいことに挑戦することは難しく、困難な壁に何度もぶつかりました。そんな時に支えてくれた先輩方、教職員の方々がいたからこそ成功した学祭だったと思います。

開国祭は実行委員だけでなく学生皆で作り上げるものだと私は思っています。来年も皆で感動し楽しめる学祭にしてほしいです。



尾場研究室による 「大学生による佐世保たこ焼きのブランド化」

尾場研究室は昨年度から、佐世保市内にあるたこ焼き屋さんをゼミ生がフィールドワークとして調査してきました。どんなたこ焼きが佐世保の老若男女に食べられているのか、そして、今後未長く食べて頂けるのかを考え、また、地域の特産物を調べ、調理法を試行錯誤して誕生したのが地域プラントとしての「佐世保たこ焼き」です。

昨年度に引き続き、11月2日・3日(土/日)長崎国際大学 大学祭において、模擬店として出店するとともに、本年度は、佐世保バーガーに次ぐ、佐世保の新しい地域ブランドを開発・発信するため、長崎国際大学・尾場研究室と佐世保市内のたこ焼き屋さんが協力して「佐世保たこ焼き」に特化したイベントをJR佐世保駅フレステラSASEBOが主催し「佐世保たこ焼きグランプリ」が開催されました。

来場者は食べ比べチケット(500円)を購入し、気に入ったたこ焼きを投票用紙に記入しグランプリを決めるもので、なんと佐世保市内の人は気のたこ焼き屋さんを抑えて、尾場研究室の「佐世保たこ焼

き」が見事グランプリに輝きました。尾場先生も、ゼミ生も新たな地域ブランドとしての「佐世保たこ焼き」をさらに情報発信し観光振興に役立てたいと意気込んでいます。



エイサーサークル

卒業生の皆さん、こんにちは!私たちエイサーサークルは、いぢやりば兄弟(一度会えば皆兄弟)の言葉を胸に、初代から始まつたエイサーを代々受け継ぎ、現在も活動を続けています。エイサーとは、沖縄のお盆で先祖を見送る際の伝統舞踊で、沖縄の各地域で踊られているものです。

この長崎国際大学でも沖縄の人はもちろん、沖縄県外の人も一緒に楽しく活動しています。毎年、年を重ねるごとに成長しているサークルですが、今年はさらに飛躍の年となりました。ありがたいことに外部からの出演以来も増え、学祭に向けての練習だけでなく定期練習も取り入れて盛んに活動するようになりました。

大学内の新歓祭から始まり、佐世保市内や隣町の各イベントに参加させていただきました。どのイベントでも多くの方々から温かい言葉をいただきと共に、会場の方々と楽しく踊ることが出来ました。佐世保に住む一員として、地域の様々なイベントや人の温か

さに触れることができます、とても嬉しい思います。

そして、このサークルの華を飾る学祭では、一段と熱を上げて朝早くから夜遅くまで練習し、チーム一丸となって楽しく踊りきる事が出来ました。また、定番となつた最後の力チャーシーでは会場の方々が自ら踊りに参加してください、最高の思い出が出来ました。

今後もこの長崎国際大学らしいエイサーを継承し、地域交流を図りながら地域貢献が出来るように頑張りますので、応援よろしくお願いします!!

代表 浜崎七絵(健康栄養学科4年)



アンケートへのご協力を願いします!

~本学の教育改善のために卒業生の皆さんのお声をお聞かせください~

このたび長崎国際大学では「大学の学習成果と卒業生のキャリア形成に関する調査」をWeb調査(インターネット)で実施することになりました。

母校の教育改善のために、ぜひアンケートにご協力くださいますようお願いします。

スマートフォンやパソコンから回答が可能です。

①実施月日: 平成25年12月16日(月)～平成26年1月10日(金)

②実施方法: 長崎国際大学のホームページのリンクからアンケートフォームを開き、Webサイト上で入力、ID、パスワードは、後日別便で郵送します。

③問合せ先: キャリアセンター(担当:乙須・前川)電話番号:0956-20-5566 e-mail:career@niu.ac.jp

※このアンケートは、同窓会の協力のもと学務支援室、キャリアセンターが実施するものです。